



令和元年10月24日

第 58 号

さくほ

ほ

2019⑨

議会だより



**佐久穂中学校樺松祭
地域交流企画
「アイリッシュハーブ」**

発行：佐久穂町議会
議長：高橋 康徳
編集：議会広報編集調査特別委員会
〒384-0697
長野県南佐久郡
佐久穂町大字高野町569
TEL.0267-86-2556
印刷：キクハラインク有限公司

いいね
押してね

さくほ議会
Facebookもチェック
さくほ議会



9月定例会

**平成30年度 決算認定
保育料無償化と町の施策……………P2・3**

平成30年度決算

子どもにもわかりやすい さくほのお金……………P4・5

一般質問

・国の骨太方針を町政にどう活かすか
・道の駅建設・運営をどう進めるか 他…P6～11

消費税増税・幼児教育無償化 10月1日を迎え変わる町政

第5回 臨時会

8月9日に臨時会が招集され、消防ポンプ自動車の購入が全員賛成で可決されました。

第6回 9月定例会

9月5日に9月定例会が招集されました。

認定案10件、条例案7件、補正予算案9件、その他案件1件、報告3件、諮問1件の計31件と、陳情1件が議会に提出されました。

町長の招集あいさつでは、

○9月1日の防災の日に全町で防災訓練が実施されたこと

○ジャパン・シールド・アワードにて、町内リンゴ農家のりんごや須田さんが受賞されたこと

○さくほ森の子育成クラブが全国森林レクリエーション協会の美しの森活動コンクールにて、奨励賞を受賞したこと

○新庁舎建設に関して工期を延長する予定があること
などが報告されました。



新庁舎工事の現状

佐久穂町立保育園 保育料および副食費の 無償化実施

国の幼児教育無償化方針により、3歳児から5歳児までの保育料を無償化

する議案第53号が全員賛成で可決されました。
またこの条例では、佐久穂町独自の施策として、町民が佐久穂町立保育園に通園する場合のみ、副食費も無料となることが定められています。



海瀬保育園運動会

平成30年度 歳入歳出決算を認定

一般会計	
歳入	86億9969万円
歳出	83億2780万円
国民健康保険特別会計	
歳入	12億552万円
歳出	12億499万円

介護保険特別会計

歳入	13億6904万円
歳出	13億4439万円

住宅改修資金等貸付事業 特別会計

歳入	902万円
歳出	901万円

簡易水道事業特別会計

歳入	2657万円
歳出	2524万円

農業集落排水事業特別会計

歳入	7485万円
歳出	7281万円

住宅地造成事業特別会計

歳入	5566万円
歳出	5566万円

老人保健施設特別会計

歳入	3億8538万円
歳出	3億7585万円

索道事業特別会計

歳入	2億6494万円
歳出	2億6487万円

後期高齢者医療特別会計

歳入	1億3600万円
歳出	1億3504万円

消費税増税にともなう 改定

10月1日消費税の増税を見据えて、様々な条例の改定が必要となります。
今回は、議案54号・議案55号で佐久穂町の下水道設や町営水道に関する条例の改定がありました。



上地区農業集落排水施設

米軍機の低空飛行禁止の 意見書提出

陳情第3号「米軍機の低空飛行禁止を求める意見書の提出に関する陳情書」が賛成多数で可決されました。
それを受けて、発議第3号「米軍機の低空飛行禁止を求める意見書の提出について」が同様に賛成多数で可決され、意見書という形で佐久穂町議会から内閣総理大臣他へ提出されることとなりました。

総括質疑

高見澤 春野

問 印鑑の登録及び証明に関する条例一部改正で、旧氏記載可能にするものと説明されたが、その手続方法と対象者は。

住民税務課長 手続きは、住民基本台帳にまず記載されている内容が反映、住民基本台帳に旧氏記載の申請をしていただくことも必要となります。
旧氏は過去に称していた氏であって、戸籍又は除かれた戸籍に記録されているものであり対象者となります。

問 手数料徴収条例の一部改正で、屋外広告物等の許可手数料の対象期間（許可期間）、手数料収入はどこへ入るのか、対象物の面積はどの部分なのか、設置する区間、区域は、また景観への配慮は。

住民税務課長 一般的な広告物は3年、張り紙、立て看板、幕類等は6か月です。
委任事務に関する手数料として町の収入となります。中部横断自動車道八千穂高原インターチェンジまでの区間は、県の条例や施行規則により、禁止区域、許可区域が定められています。

対象物の面積は県の基準がありますが、面積の捉え方は複雑になっています。
景観への配慮は、県の屋外広告物条例で制定されています。

問 令和元年度一般会計補正予算（補正第2号）における白石荘の看板撤去の内容は。

総務課長 白石荘の大型看板2カ所です。

令和元年第6回定例会 賛否一覧

※これ以外の案件等は、全会一致で承認・可決されました。

議案等番号 議案等略名	議員名											議決結果
	西部	島崎	須田	石井	出浦	井出	高見澤	佐々木	倉澤	倉澤	岡部	
陳情第3号 米軍機の低空飛行禁止を求める意見書の提出に関する陳情書	元和	規子	良子	正行	修身	正臣	研二	正雄	陽一	治貴	勝一	採択
発議第3号 米軍機の低空飛行禁止を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	■	可決

※「○」は賛成、「■」は反対 議長（高橋康徳）は採決に加わりません。



しらかばちゃんが解説!

子どもにも わかりやすい

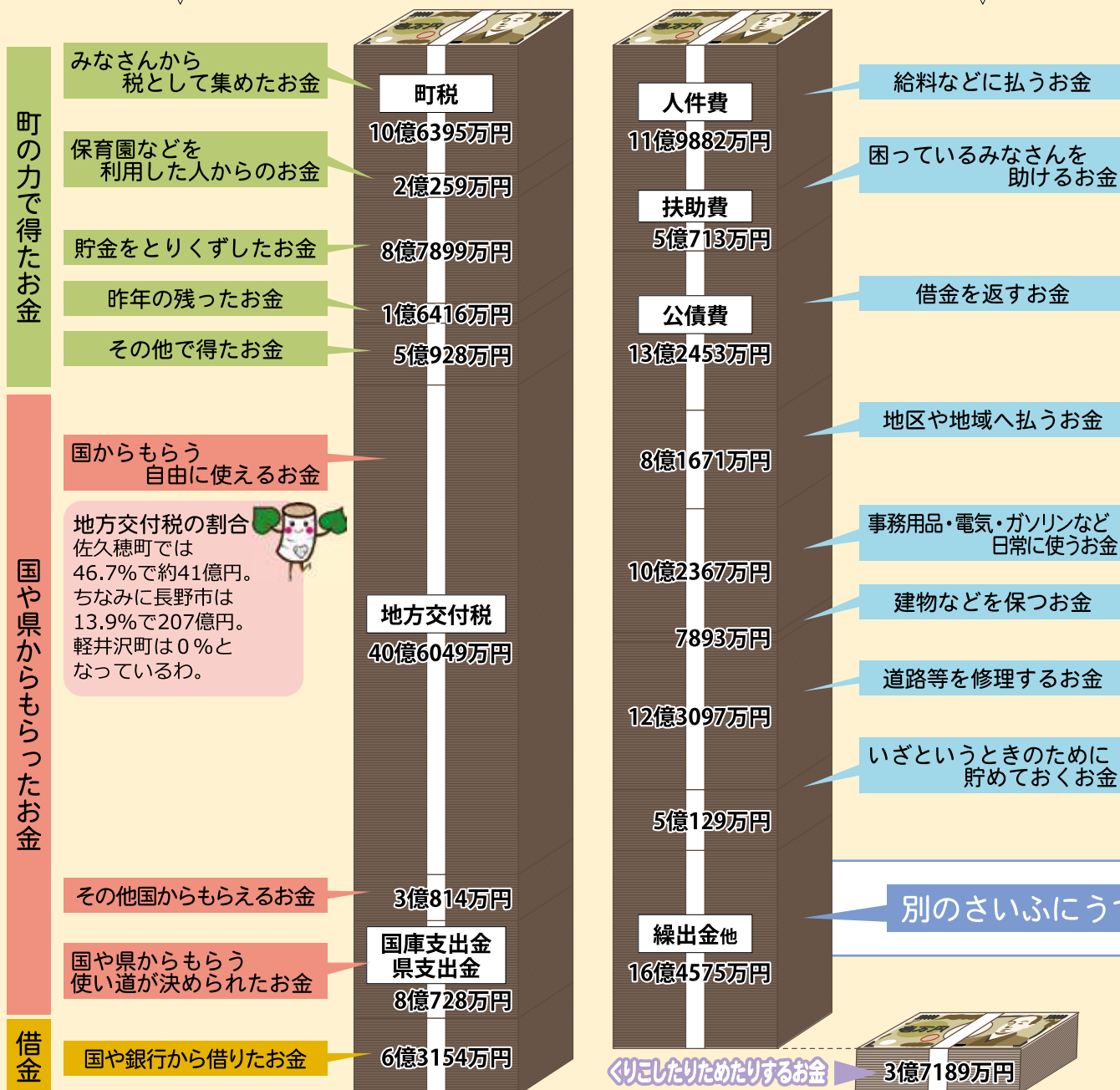
さくほのお金

平成30年度
決算

入ってきたお金
86億9969万円

ふつうの
さいふ
一般会計

使ったお金
83億2780万円



平成30年度決算の詳細につきましては
広報さくほ10月号P6又は佐久穂町ホームページ
(<https://www.town.sakuho.nagano.jp>)をご覧ください。



QRコードを
使うには?
App Store か google
playからQRコードリー
ダーをダウンロード♪
そのアプリでコードを
撮って!

気になる佐久穂町の 借金と貯金

(一般会計) 平成30年10月時点

借金(町債)
50億3229万円

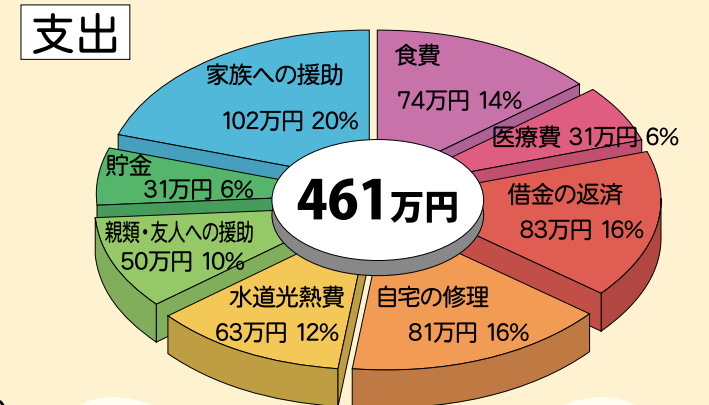
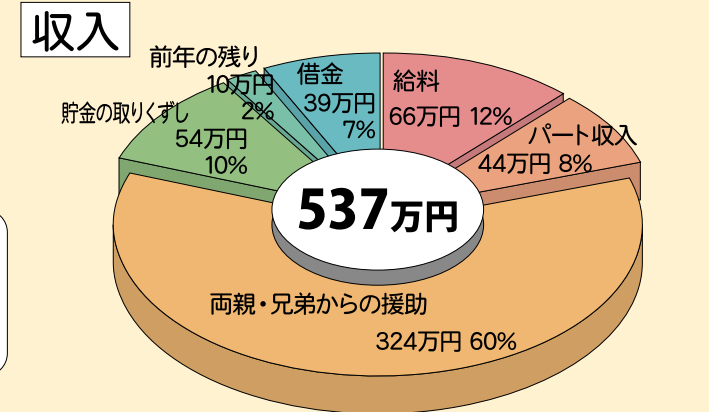
貯金(基金)
75億7810万円

(町民1人あたり)
約45万6444円

10月現在
町民1万1025人で計算

(町民1人あたり)
約68万7356円

平成29年度の収入が500万円
の家庭の場合
平成30年度の収入支出を
グラフで見ると?



借金残高
311万円

(平成30年決算時)

貯金残高
468万円

専用のさいふ

特別会計



スキー場のさいふ

入 2億6494万円
出 2億6494万円
(スキー場譲渡に関わる清算)



介護保険用のさいふ

入 13億6904万円
出 13億4439万円



千曲病院専用のさいふ

入 17億6185万円
出 19億1763万円
(収益的・資本的の合算)



老人施設専用のさいふ

入 3億8538万円
出 3億7585万円



他にも6つの専用
さいふがあるのよ

佐久穂小中を活かした 移住施策を

井出 正臣



教育長 教育委員会としては積極的にPRを行う考えはありません。

佐久穂小中学校を 活かした移住施策

実践が町の魅力のひとつとなり、移住定住に結びついていけばと考えています。

問 大日向小学校に劣ることのない教育内容と施設を持つ佐久穂小中学校を積極的に利用した移住施策を再考すべきでは。

教育長 教育委員会として学校を移住定住目的で積極的にPR等を実施していくことは考えておりません。町内での確実な実

問 教育長や学校長が移住セミナーに足を運び、熱意を持って町の教育を訴えるということは可能か。

町長 外に対して開かれている地域に人は集まると言われている。結論としては、可能だと

思います。

公営住宅の利活用

問 教員住宅を代表とした町内で最も多くの空き家を所有する町として、その活用方針を明確にすべきではないか。

町長 公共施設個別施設計画を策定するのと並行し、方向性に出せる施設については来年度予算に計上していきたいと考えています。

総務課長 畑ヶ中教員住宅は10戸全てが空いている状態です。教員住宅は公営住宅法の縛りがないため、その用途及び処分を町が決定できます。

問 移住者を目的にして即時に対応することはできないか。

町長 大日向小入学を目的とした関係者の場合、住む場所が佐

久市であっても小海であっても構わないと考えます。

「さくほいいずら」の 実施状況

問 変化も魅力もない「さくほいいずら」は、どのように検証されてきたか。

総務課長 平成27年の開催後に検討会が行われ、町民祭りを継続するならば、祭りの柱となるものが必要であり、町民の意識がひとつになれるよう改善が必要であるという見解が報告されています。

問 実行委員会ではなく、イベント会社に委託し、実施するよう検討できないか。

町長 さくほいいずら開催の趣旨や目的を再認識し、それが達成されるなら実行委員会にこだ

わる必要はないと考えます。



さくほいいずらの花火

終わってひと言

大日向小入学を目的とした移住者数は想像以上ですが、佐久穂小中学校の素晴らしいに気づき、第二子を入学させるという家庭も出てきています。若者が増えないと高齢化も止まりません。教員住宅のリノベーションやお祭りの改革など若者にとって魅力ある町であるために変化を惜しまずに対応していただきたいと思います。

消防に対する強化・改善は

小宮山 雅則



町長 課題を整理し、できるものから取り組みます。

筆岩地区火災から

問 筆岩地区火災から、消防に対する強化や改善された点は。

町長 筆岩の皆さんと「まちづくりふれあいタウンミーティング」として懇談を行い、炊き出しの関係、水利や消火活動など貴重な意見をいただいたので、できるものから取り組みをしてみたいです。

問 炊き出しは、近隣の区に協力をお願いできる体制が必要では。

町長 炊き出しは、あくまでも被災された地区の方に対して行っていたら、消防団や自衛隊は飲食物を自ら用意するのが本来の姿です。

機能別消防団員制度について

問 機能別消防団員制度の内容は。

町長 この制度は、減少している消防団員の体制を回復させようと、恒常的に活動する団員としてでなく、住民個々の実情に応じて特定の活動のみ参加することとする新たな団員確保の施策です。

総務課長 当町では一般団員が不足している第一分団東町班と第六分団崎田班に運用しています。

問 機能別消防団員制度の導入で懸念される問題はないのか。

総務課長 平均年齢が64・4歳ですので体力的限界による退団が考えられ、新たな加入がなければ一般消防団員の活動範

囲や負担が大きくなります。

災害発生時に中心となるのは一般の消防団です。その活動をもに行い、地元活動を後方支援や補充をしてくれる機能別消防団と考えていますので、なくてはならない組織として、一般の消防団とともに団員の確保に努めます。

豚コレラ対策

問 豚コレラ感染防止のため、養豚農家への指導や対応がされているのか。

町長 町内養豚農家の意向を確認し、県の指導をいただき、感



豚コレラワクチン（提供：共立製薬）

染防除用の消石灰の配布を行うなど、防疫対策等の整備を進めているところです。
産業振興課長 一部の養豚農家から電気柵の要望があり、2分の1の補助で資材支給を行っており、今後感染拡大が懸念されますので、補助金を補正予算に計上しました。

問 経口ワクチンを一斉に散布したほうがいいのでは。

産業振興課長 今のところこちらのほうは、県の配布予定がありません。

県は、豚へのワクチン接種を10月下旬に開始する方針を明らかにした。

高齢者のフレイル対策は

石井 正行



町長 事業をすでに実施してきました。

高齢者のフレイル対策について

問 フレイル対策について見解を

町長 町では、介護予防事業や健康管理事業において、フレイル予防となる内容を内包する事業を既に実施してきました。75歳以上の高齢者の介護予防の推進、特に、フレイル対策については、後期高齢者医療広域連合からの交付金も活用しながら主体的に取り組むことになると考えております。

を要望します。

高齢者サービスの充実について

問 げんでる公園に高齢者用健康遊具を
町長 公園の利用状況を確認した上、近隣市町村の設置状況なども調査し、今後の運用について研究してまいりたいと考えております。

問 シルバーカード制度の導入を

町長 コミュニティーの創生や地域包括ケアシステムの構築に向けて効果がある手法ですので、高齢者のニーズ、商工業者の意向などを調査、検討をしてまいりたいと考えています。

問 高齢者に配慮した避難所を

町長 災害弱者への支援については、もちろん公助も大切ですが、それ以上にふだんからのつながりや、かわり合いがある顔や生活実態、親族などへの連絡先を知っている御近所での共助での支援が必要になると考えます。

要望 フレイルという言葉が多世代に広め、その予防を広報等でも周知していただき、医療や福祉、地域の多面的なかかわりにおいて、幅広くフレイル予防における施策を今後一層進めていただくこと



健康体操

要望 一人暮らしの高齢者や高齢者世帯家族と同居する高齢者が、住み慣れた地域で安心して暮らし、介護が必要になつた場合にも、介護サービス等によって自分らしく暮らし続けられるよう、また、介護家族に対するサポートによって高齢者家族介護者と共に笑顔で過ごせるよう、多様なサービスを提供されますことを要望します。

町の今後の道路行政は

倉澤 治貴



町長 地道な要望活動を継続してまいります。

町の今後の道路行政について

問 中部横断自動車道が開通し、大きな目標が達成された現状において、今後の高速道の延伸や国道・県道及び町道について町の道路行政の状況と取組は。

町長 中部横断自動車道は2020年中には、山梨県内の富沢インターから下部温泉インター

までが開通予定、残すは長坂八千穂高原インター区間となる状況です。この区間については環境影響評価方法書の説明会が開催されたところです。引き続き要望活動に努めてまいります。

国道299号は長野県、群馬県、埼玉県を結ぶ幹線道路です。町内における当該道路の改良率は69%です。関係市町村と整備促進期成同盟会を組織し活動し



佐久川上線

ています。また十石道路トンネル整備促進期成同盟会を群馬県上野村と組織し、十石道路のトンネル化を含む道路改良により通年通行について活動しています。

国道141号は、統合小中学校開校に伴う歩行者の安全確保のため、下畑から中畑信号区間の歩道整備を令和4年度の完了

を目指しています。

県道川上佐久線は、羽黒山バイパスと海瀬バイパスを結ぶルート及び141号までの先線ルートが決まらない状況です。町は千曲川右岸を走る唯一の道路であることから、早期全線整備に向け関係機関に要望していきます。

問 中部横断道開通にご尽力いただいた各協議会等の今後については。

建設課長 佐久浅間農協高速道対策協議会は、佐久穂地区等として一つの協議会に統合、経過地域の諸問題等について関係機関との要望を行っていくと伺っています。町の高対協は、全線開通に向け引き続き、要望活動を行っていきます。

佐久穂町女性みちの会については、女性の視点から道づくり、

地域づくりの啓発要望活動を引き続きお願いしたいと考えています。

河川整備状況について

問 一級河川北沢川の改修は、中部横断自動車道の雨水排水対策か。

町長 北沢川は過去に何度も浸水被害が発生しています。このような状況下の中、第1期改修工事が平成29年に完了し、引き続き中部横断道北沢橋付近までの第2期工事が令和8年度までの事業として進められています。県は対策協議会をはじめ、地元との調整をしっかりと行っているため、町も最大限の協力をしてまいります。

関係人口増に、人の繋がりの活用は



町長 いい考えだと思います。

高見澤 春野

こどもセンターの運営状況

問 開所から1年半、問題なく運営されているか。

町長 開所以降、総合的な子育て支援の場として大勢の皆様にご利用頂いています。さまざまな御意見を参考にしながらより良い施設づくり、運営に努めていきます。

こども課長 現状では大きな問題なく施設運営されていると認識しています。

乳幼児への対応は。

こども課長 子どもの非認知能力の発達に配慮し、子育てする上で関心が向くプログラムを検討し、取組んでいます。中庭整備が完了し活動の場が広がり、にぎやかな声が聞けると思います。

保護者からの要望への対応は。

こども課長 センター内に意見箱を設置してあります。すぐ対応できるものは対応し、必要に応じ意見交換し改善に努めています。（事例・プレイルームの圖書の増量、西陽に対してカーテン設置、小さい子供用の手洗い設置など）

問 圖書の貸出し、開所時間の繰上げの要望もあるが。

こども課長 小さい子どもさんが利用しやすいコーナーがある町の図書館利用を御案内しています。開館の繰上げは行なわず現状のままでと考えています。

問 子育て支援に特化した保健師をこども課に置くべきでは。

町長 教育委員会、健康福祉課保健師がすぐ連携できるワンストップ体制をとっています。こども課に配置することは悪いとは思いませんが、現状を維持していきます。



こどもセンター中庭

人口減少対策

問 人口減少を食い止める方策は。

町長 大日向小学校への転入者、隣接自治体企業への就業者定住のための宅地、賃貸住宅対策を進めることが現時点での現実的な方策と考えます。

問 関係人口を考える案として、ある会社とつながりがある方をコーディネーターとして定年を迎える人が元気に働けるうち10年間関わってもらい、次の人にバトンタッチしていくことは考えられないか。

町長 いい考えだと思います。

投票時間の繰り上げを!!



選挙管理委員長 繰り上げの方向で検討します。

倉澤 陽一

投票時間について

問 期日前投票も十分利用されている現在、職員等の負担軽減も考え、投票時間の繰り上げは考えられないか。

選挙管理委員長 選挙管理委員会定例会の議題に上げ、投票所を開める時間の繰り上げを行う方向で検討していくことになりました。

問 長野県下で繰り上げ投票を実施している市町村は？

総務課長 県内77市町村のうち48市町村です。投票所の数ですと四分の一で実施されています。南佐久郡内では佐久穂町川上村以外の4か町村のすべての投票区で一時間の繰り上げ投票が行われています。

問 午後6時過ぎの投票者数は？

総務課長 6時から7時の投票者は、全投票者の6%です。7時から8時までは3%です。



菊池選挙管理委員長の答弁

問 期日前の投票者数は？

総務課長 今年7月の参議院選では、全投票者の46・4%です。半数近い人が期日前投票を済ませています。

問 一時間繰り上げると、選挙費用はいくら減額になりますか。

総務課長 職員89名でおよそ19万円の減

額になります。開票作業も早く終わりますので、全ての関係者の疲労感の軽減につながります。

問 次の町長選、町議選に間に合うように取り組んでいきますか。

総務課長 町の選挙は期間が5日間です。日曜日が入っておりませんので、そこを考慮して検討していきます。

投票率について

問 投票率を上げる取り組みは？

総務課長 県の選挙管理委員会と共に啓発活動を行ってまいります。6年生にポスターをお願いしたり、啓発用のステッカーを張って呼びかけています。

問 スウェーデンでは30歳以下の投票率が81%。「自分が投票したら社会が変わる」という意識があるそうだ。日本は33%。若者の意識を変えるために、佐久穂教育でも小さいうちから選挙に関心を持つ教育に取り組んではどうか。

こども課長 6年の社会科で参政権を学習しています。9年生も憲法にある国民主権で成立の経過や重要性を学びます。全国学力、学習状況調査で、「人の役に立つ人間になりたいか」「地域の行事に参加しているか」などのアンケートで全国平均よりかなり高い水準の結果が出ました。主権者教育の成果がなと考えています。選挙への関心は学校として高めています。

住みやすい町づくりに 対する施策は



町長 様々な提案は検討し
方向を決めていきます。

須田 良子

問 今住んでいる人が住みやすい
と思う、これから住んでみ
たいと思う町にするための、
今困っていることに対する施策
は。

育て、教育の町づくり及び安心・
安全・快適な町づくりを進めて
いけば、おのずとゴールはほぼ
同じになるのではないかと、考
えています。

町長 住民サイドからまちづく
りを見たとき、ある意味、理想
の町の姿だと思っています。町の総
合計画の重点戦略である、住み
続けたいを守る持続可能なまち
づくり、選ばれ、誇りを養う子

健康福祉課長 地域づくりフォ
ーラムの中で、地域の皆さんが
一番困っている、今必要と思う
サービスは、交通の問題、移動
手段がないことが上がっている
と感じました。

問 高齢者の足の確保が一番重
要だと考えます。げんでる号の
改善、見直しは不可能という答
弁でしたが、見直しに取り組ん
でほしいと思いますが。

総合政策課長 今、げんでる号
のシステムは、バランスよく運
行できている状態だと思いま
すので、お困りになっている方
に対しては、それぞれ個別に対
する形で、何らかのシステムの
構築を考えていかなければとい
うふうに考えています。

問 個別に考えるということ
ですが、今、介護保険を使うよ
うになる前段階の人たちが、と
ても困っています。げんでる号が
町外に出ないのであれば
◎げんでる号利用者の延べ人数
で一人に1009円かかっている
計算となりますので、タクシ
ーを利用した場合、一回につき



健康フォーラム

1000円補助したらどうです
か。

◎地域で受診のために町外へ行
きたいと望んでいる人は、アン
ケートに答えていません、是非
アンケートをもう一度取り直し
て頂きたい。

◎広域で南牧、小海からでも佐
久市へ繋げていただき、げんで
る号に繋げるようなシステムを

早急に考えて頂きたい。

町長 様々な提案を頂きました
ので、内部で検討したうえで、
その方向を定めたいと思います。

問 5年、10年先を見通した施
策としても、早い時期に、便利
に使える公共交通を確立し、高
齢者が元気を維持し活発に社会
参加し続けられるようにしてい
たいと思います。

町長 職員一同でアンテナを高
くし、町の総合計画や実施計画
などにおいて、5年、10年先に
必要となる事業を計画し、実施
してまいります。

国の骨太方針を町政運営に どう活かすのか



町長 計画が可能なものは検討します。

高見澤 研二

問 国の骨太方針2019を、今後の町
政運営にどの様に生かしていくのか。

町長 骨太方針の本身は、国レベルで行
うものですが、過疎法など国の施策の方
向や動向を見ながら、計画化が可能なも
のは検討します。

問 佐久穂町は、一般会計の歳入の半分
程度を地方交付税に依存している。交付
額の適切な予測は、非常に重要だと思
います。財源不足にならないようにする
為には、余裕を持った予算編成が必要だ
と思いますが。

総合政策課長 普通交付税は、今年度で
合併算定替の加算措置が終了し、一本算
定となります。したがって、10%分の減
額は見込まなければなりません。そこに
地方財政計画に定められた減額割合を乗
じて、さらに3%の安全率を見込んだ予
算計上をしていますので、現状維持は可
能ではないかと考えております。

問 地域問題研修会の成果をどう行政に
反映し、自治体間の連携や信頼関係の構
築に活かすのか。

町長 研修によって得られた情報が聴講
者全員の共通理解となれば、連携につな
がることは可能と考えています。今後の
課題とさせていただきます。

問 議案第56号、令和元年度佐久穂町一
般会計補正予算、「第2表」債務負担行
為の補正についてお聞きします。1、事
項の具体的な内容。2、期間を、5年間



こどもセンター入口

とした根拠。3、限度額の根拠。
総合政策課長 1、現行のスクールバス
運行業務、公用車運行管理業務及び保
育園給食調理業務に加え、こどもセンタ
ー業務、図書館業務、美術館業務、建設
作業員業務、農業委員会補助業務、健康
福祉課補助業務、包括支援センター補助
業務、などを包括的に業務委託すること
を予定しています。
2、包括業務委託の性質上、短期間で
事業者が変更になることは、業務運営の
安定性を欠くおそれがあるといった考え
方によるものです。
3、包括業務委託事業それぞれ5年間
の経費として、総合計で6億円ほどにな
ります。これに、将来的な不安定要素を
加味し、限度額を設定しました。

道の駅建設・運営を どう進めるか



町長 先ずは休憩施設をつくり、道路
利用者と住民双方が利用できる施設を
つくりたい。

出浦 修身

問 次期コミュニティ創生戦略の戦略
作成で、

1. 現戦略の実績評価をいつするか
2. 次期戦略はいつ、どう作るか
3. 戦略の継続性をどう持たせるか
町長 1. 毎年夏ごろに実施し、次年度
計画に活かしています。
2. 基本理念は大きく変えず、年度内に
作成し、新年度当初から実施します。
3. 理念及び住民との協働を継承し、戦
略の連続性を確保します。



コミュニティ創生戦略

問 人口や産業活性化項目では、働く場
所をどう作るか等構造的課題への取り組
みを一層強化すべきでは。

総合政策課長 働く場所の確保では、企
業誘致を推進し、テレワーク、サテライ
トオフィス誘致も視野に進めます。

問 住宅ニーズへ対処を急ぐべきでは。

町長 新築・土地取得助成金、空き屋対
策補助金など一通りメニューは揃え、一
定の効果は出ています。今後はエリア毎

にコンパクトシティ的な政策誘導など、
十分な議論を行う必要があります。

問 空き家バンク登録は増えたが、老朽
物件が多く、ニーズに合わないの
で、
1. 空き家整理事業の補助金増額。
2. 空き家改修事業の補助金増額強化。
3. 賃貸用戸建て及び集合住宅の建設
誘致策の新設等、政策強化できないか。
総合政策課長 空き家対策の補助金制度
は時限立法で有り、期限を迎える時点で
制度の見直し等も検討したい。

問 交通量変化への対応は。
町長 交通量変化の情報をしっかり集め、
対策を実施して行きます。

問 R141の交通量は減少し、商店の
閉鎖が相次いでいます。地域振興カード
やシルバークード等の導入や、空き店舗
の再利用推進策を強化すべきでは。
産業振興課長 昨年度から操業支援とし
て空き店舗改修補助や賃貸補助制度を事
業化してきています。

問 道の駅の建設・運用への町の関与を
どの様に考えているか。

町長 道の駅建設では、基本計画策定を
委託しています。将来住民の負担になら
ない施設づくりを考えています。
先ず道路休憩施設を造りその上で、民
間活力を利用し、道路利用者と地元住民
の両方が利用できる施設づくりを進める
様、基本計画の策定を進めています。

南佐久郡町村会 佐久地域問題研修会

8月23日小海町役場会議室において、南佐久郡町村会主催による佐久地域問題研修会が行われました。講演「地域づくりの課題と求められる地方自治体像」について佐々木浩前総務省地域創造審議官の講演があり、地域と多様に関わる者である「関係人口」に着目し、地域外からの交流の人口を増やすことが必要であるとのお話がありました。



「町村議会広報クリニック」

7月9日に東京千代田区の全国町村議員会館において、町村議会広報クリニックが開かれ、広報編集調査特別委員会の6名が参加してきました。

広報アナリスト吉村潔氏による190分の講義と実際の広報紙を参考にしながらの広報紙づくりのヒントや見やすい紙面にするためのポイントなどを学びました。



「上野村議会と佐久穂町議会の 交流会」

10月2日に群馬県上野村議会と佐久穂町議会との交流会が行なわれました。

今回は、佐久穂小・中学校の見学と倉澤教育長による佐久穂教育の説明を受けました。その後有意義な質疑応答と意見交換会を行いました。

研修活動等 の 報告



「(学校法人) 茂来学園、大日向小学校」視察

7月19日に本年4月に開校した「茂来学園大日向小学校」の視察を佐久穂町議会として行いました。桑原校長先生に校内を案内していただいた後、教育内容や方針、はつらつとした日頃の子どもたちの様子をうかがい、地元活性化への貢献を実感しました。



長野県町村議会議長会主催議員研修会

7月29日に下諏訪総合文化センターにおいて、長野県町村議会議長会主催の議員研修会が開催されました。前半は「町村議会議員のあり方と定数・報酬をめぐる論点」について、明治大学政治経済学部教授であり、かつ地域行政学科長でもある牛山久仁彦氏による講演でした。議員のなり手不足問題の原因として考えられるのは議員報酬の低さや定数の減少による当選ラインの上昇であるとのことでした。後半は「条例の読み方・政策条例の考え方」について、提中富和滋賀大学客員研究員による講演が行われました。法律・条例は、国民・住民を代表する議会では創りだすことはできないとのことでした。

次回議会開催のお知らせ

次回12月定例会は**12/5(木)～12/19(木)**

一般質問は**12/11(水)・12(木)を夜間議会、
12/14(土)を休日議会**とし、

茂来館 メリアホールで行う予定です。

皆様の傍聴を心よりお待ちしております。

令和元年7月25日発行の「議会だより」第57号に掲載の内容に誤りがありました。お詫びと訂正をさせていただきます。

〔5ページ 一部事務組合欄〕
誤) 佐久市水道企業団議会
正) 佐久水道企業団議会

「訂正お詫び」

■ 経済福祉 常任委員会

委員会には、平成30年度佐久穂町一般会計歳入歳出決算の認定ほか認定案6件、本年度の一般会計補正予算議案ほか議案8件の計16案件が付託されました。審議は9月12～13の2日間にわたり行われました。担当各課からの説明を受け質疑を行い、全案件が全員賛成で、認定・可決となりました。

平成30年度一般会計決算

所管する健康福祉課・産業振興課・建設課所管する主要項目での、平成30年度の主な決算内容は以下の通りです。

■ 健康福祉課 30年度決算 前年比(千円)

社会福祉総務費	225,279	－25,861
老人福祉費	283,554	－85,199
障害福祉費	302,088	＋15,148
介護保険事業費	180,837	＋3,826
保健衛生総務費	341,898	－4,396

ほぼ前年並みの業務展開でしたが、社会福祉総務費では、高齢者への臨時福祉給付金の終了による減少34,245千円が主因です。

老人福祉費では、介護予防拠点整備事業補助金等の減37,825千円と、住民税務課が所管の後期高齢者医療事業費の広域連合負担金の減少54,597千円があり、社会福祉費全体では前年度比95,119千円の減少となりました。

しかし、障害福祉費や老人保健施設特別会計への拠出金等は年々増加しています。



ウッドスタート

■ 産業振興課

項 目	30年度決算額	前年比(千円)
農業費	210,385	－52,529
林業費	156,134	＋28,623
商工費	68,417	－9,904
観光費	23,647	－10,640

農業費は国の補助事業である農業基盤整備事業の終了に伴い43,529千円減少した。

林務費は森林管理システム整備事業で2,312千円、新設の木育事業で2,290千円の増加など。

商工費の内、負担金・補助金等の商工業振興事業費は14,855千円で、前年比2,525千円の増となり、創業支援事業補助等を積極的に実施した。

観光費では信州DCの終了に伴い、白駒線バス運行費などDC関係が5,717千円と減少した。

観光費の質疑

白駒線のバス利用者は前年が信州DCであったことから49%と大幅に減少した。

問 白駒線のバスが通っている事を町内にチラシ等でもっとPRしては。

答 来年度はPRに努めます。

問 白駒線は佐久平駅から八千穂高原まで運行しているので、佐久市でのPRもすべきでは。

答 集客に向けPRの方法を検討します。

問 花木園・マレット場の利用は3年前と比べ500人以上減少しています。施設を整備し集客に努めては。

答 マレット場は家族で楽しむ施設として設置しています。台風被害なども有るので来年度はもっと整備し集客に努めます。



大日向・池の尾橋の工事完了の確認

■ 建設課 30年度決算 前年比(千円)

土木費(全体)	974,411	－78,997
土木総務費	109,990	－18,770
道路維持改良費	194,354	＋23,879
橋梁維持改良費	172,142	＋160,142
高速道路費	5,789	－248,202

土木総務費は委託費・負担金等が13,829千円減少し、道路維持改良費では、前年度繰越を含む町単道路改良費及び辺地対策事業費が増加し、同じく橋梁維持改良費も前年度繰越工事の完工が増えたことから、大幅な前年度比増加となった。

また、中部横断道の開通に伴い、高速道路費は248,202千円の大幅減少となった。

委員会活動から ～委員会審査～

■ 総務文教委員会

認定4件、議案9件、陳情1件が付託され、全付託案件を原案どおり承認可決されました。

審査に当たっては所管部局に対し、各委員から活発に質疑が出され慎重に審査を行いました。

平成30年度一般会計決算

問 公共施設マネジメントシステム構築委託料(6,318,000円)とは。

答 公共施設のコスト、ストック、サービス情報を一元管理し、施設評価や施設カルテの自動作成、ライフサイクルコストの算出できるシステムを構築する委託料です。

問 千ヶ日向マレットゴルフ場敷地賃借料(1,167,400円)の更新過程は。

答 今年4月に面積820㎡減少し49,900円減で更新、単価については検討中です。

問 古民家リノベーション技術的助言等(432,000円)とは。

答 古民家黒澤邸・内津邸のリノベーションに伴う技術的指導と原材料です。

意見 借主個人の改修事業にならないように。

答 そのようにしています。

意見 有価物(新聞紙、段ボール紙)は民間に出さないで町のほうに出すよう周知を。

答 民間業者がすることに、あえて町が介入すべきでないと考えます。



カインズホーム古紙コンテナ

令和元年度一般会計補正予算

【歳出】

問 一部事務組合負担金(502,000円)とは。

答 南佐久環境衛生組合分で、婦人研修センターの旧駐車場(1,338㎡)が今まで免除になっていたためです。

問 債務負担行為、包括委託の業務とは。

答 スクールバス運行を始め10項目あり、10項目まとめて包括委託します。分割委託は受け兼ねます。



スクールバス

問 包括委託先選定方法は。

答 公募型プロポーザルによって全国に業者を募り、内容を提示していただいた上で契約となります。

条例の制定

○議案第49号

社会において旧姓を使用しながら活動する女性が増加している中で、様々な活動の場面で旧姓を使用しやすくするという女性活躍の観点から、住民票、印鑑証明、個人番号カード等への旧氏の記載を可能とするものです。

○議案第50号

長野県屋外広告物条例に基づき中部横断自動車道の沿線で、良好な景観の保全・育成や公衆に対する危害防止のため、屋外広告物の表示・設置について規制するものです。

問 申請相手は。

答 申請相手は町です。公益上必要なものは対象外です。既存の構造物で該当するものは、現在見た限りありません。

○議案第53号

令和元年10月1日から施行される幼児教育無償化に伴い、条例の一部を改正。また、町独自の支援策として、佐久穂町の住民で町立保育所利用者の副食費無償化についても改正するものです。ここでいう副食費とは、昼食のおかず、3時のおやつです。主食(持参のお弁当のごはん)のみ自己負担です。未満児は保育料に副食費が入っています。



災害支援ボランティアから 安全パトロール活動や傾聴 ボランティアなどに取り組む

佐久穂町傾聴ボランティアの会「恵」
会長 松澤恵次 さん



がんばる
さくほの
チョー民

■松澤さんは安全パトロールの他、多くのボランティア活動をやっておられますが、ボランティア活動を始めたキッカケは？
いくつかありますが一番初めは、栄村秋山郷の登山道を整備するボランティアに参加したことです。趣味の山登りに通じるものがあり、今も参加しています。

災害ボランティアは平成18年7月の岡谷市の土石流水害が最初で、はじめはある団体からのお誘いで参加し、2回目からは自主参加しました。19年の新潟沖地震のときも自主参加です。

■活動が長続きする秘訣は？

人の絆ですね。平成23年の栄村地震は、登山道のボランティア仲間や、栄村の人との絆から半年くらい通いました。そして、この年の秋からは東日本大震災の復興ボランティアにも参加しました。こちらは農地の復旧に汗を流し、今でも年1回、追悼交流を兼ね訪問しています。当時から参加した仲間や地元の人との絆と、お手伝いして喜ばれた時の“ありがとう”の言葉と笑顔が長続きする秘訣だと思います。

■災害復興ボランティアのほかに地域でも民生児童委員や安全パトロールの活動などをされていますが、安全パトロールは、いつから？
安全パトロールは小中学校統合まえの西小時代から始めたので、7年近くになります。

■ほぼ毎日のパトロールという事で、頭が下がりますね。
いや皆さんと同じように都合が悪い時はいきません。でも、児童生徒の皆さんや運転者の方とあいさつするのは、気持ちがいいですね。

■ところで、民生児童委員協議会の活動では、副会長としてご活躍いただいています。民生委員を受けたキッカケは？
もちろん声を掛けられたわけですが、当時、母親が亡くなって数年のころでした。それまで両親もふくめ高齢者の皆さんとあまり関わってこなかったことを、親が亡くなってはじめて、実感しました。そんなこともあって地域に大勢おられる「高齢者の方々とか関わっていかねければいけないのでは」との思いがあったわけです。

■民生委員として心がけている事は？
そうですね、見えていることはもちろん、見えないことに気を配らねばいけないのではとの思いから、できるだけ地域の中を歩くようにしています。

あとは、人とのコミュニケーションをどうよくしていくかですね。

■松澤さんはこの町の傾聴ボランティアの会を立ち上げて6年になりますが、キッカケは？
いくつかありますが、両親が亡くなって、「もっと話を聞いておけばよかった」という想いと、災害ボランティアでも傾聴の態度で接することができれば、この思いがありました。



■今はどんなところで傾聴を？
施設での傾聴は町内7つの福祉施設で、メンバーが手分けをして実施しています。また、お一人ひとりのお話を聴く「個人傾聴」にも対応しています。

社会の過疎化・高齢化や孤立が進む中、一人ひとりに向き合える傾聴は、ボランティア活動と同じく貴重な社会資源です。住民がお互いに協力し住みよい地域を創ってゆきたいですね。
(聞き手 出浦 修身)

◆編集後記◆

議会では、ひとりでも多くの町民の皆様に議会傍聴に足を運んでいただきたく、夜間休日議会を試行中です。次回12月議会においては議場を茂来館メリアホールに移し、夜間休日議会の開催を計画しております。町民の皆様には是非議会を傍聴していただき、感想等もお寄せ下さい。

広報編集調査特別委員会副委員長

島崎 規子